

キャンドルサービス



目的 * ろうそくの神秘さによる感動を体験できる場として適した活動である。
* 神秘的な時間を仲間と一緒に過ごすことにより、連帯感を高め協力の場とし、豊かな情操を育む。

対象 小学校4年生以上

所要時間 1時間～1時間半程

人数 100人程度

必要なもの * 各団体に準備するもの*



1. ろうそく 小1人1本×人数分
アルミホイル(7cm×7cm程度)×人数分
 2. ろうそく 中8本(長さ20cmくらいのもの)
 3. 出し物に使うカセットなど
- * 貸し出しできるもの*
1. 燭台(ここにろうそく中8本をセットします)
 2. トーチ(燭台のろうそくに分火する時に使うもの、10本まで)
 3. 放送用具(マイク・カセットデッキなど)

事前準備 1. 係 営火長(集いの責任者。引率責任者が望ましい)
進行係(全体の進行を行う責任者)
聖火係(火の神点火、採火の際に火を運ぶ係)

2. 配置・座席・役割分担などの決定
3. レクリエーションにおける歌・踊りなど

進行の流れ 1. 入場・開会の言葉 進行係より1日の活動などを振りながら

2. 歌 静かな歌(遠き山に日は落ちてなど)
3. 聖火入場・点火 火の神の話(火の意義・希望・夢・自然など)
4. レクリエーション 進行係または指導者により進行してください
5. 閉会の言葉・歌 進行係によるあいさつ
7. 採火 採火する場合は火の神が望ましいでしょう
8. 退場 整列して退場する

留意点 各係は事前に十分な打ち合わせをして、役割分担や当日の動きを決めておいてください。体育室は一度照明を消すと再びつくまで時間がかかります。燭台に点火する場合は内側から行ってください。また、火のついたろうそくは傾けないでください。(傾けるとろうが床にたれるので)

その他 終了後、後始末の時に、床にたれたろうの除去ををしてください。ろうそく入れのバケツが必要な場合は事務所まで申し出てください。